

【 総 合 教 育 会 議 資 料 】
 令 和 8 年 3 月 2 6 日
 学 校 教 育 部
 学 校 再 編 課 （ 担 当 ： 上 野 ）
 直 通 5 5 9 - 5 5 5 8 （ 内 線 6 2 4 0 ）

学校再編に関する学校運営協議会等での説明について(報告)

1. 趣旨

学校再編については、令和7年度に再編の手法・時期・進め方の再検討を行い、それを踏まえて、令和8年度から各地域で説明、協議、意見徴収等を実施していく予定です。

学校再編の考え方は、平成30年7月に策定した「三田市立学校のあり方に関する基本方針」に基づき行うこととしていますが、策定から7年が経過し、市民や関係者の理解や意識も薄れていることが懸念されます。このことから事業の再開にあたり「一方的感」「唐突感」「情報不足感」を少なくし令和8年度の地域協議を円滑に進めるため、下記日程で再編対象校の学校運営協議会等で学校再編の現状を説明し、意見を聴取したものです。

2. 留意事項

- ◆学校運営協議会の場において、学校再編についての意見を自由に言ってもらいたい旨説明し、概ね30分程度の短時間かつ少人数の中で、ひざを突き合わせて、委員個人の意見を聞き取ったものであり、これら意見はPTAや各地域団体、組織等を代表するものではありません。
- ◆各校区で意見や課題、また、それに伴う対応も様々であることから、令和8年度から、各地域で一律、一斉に意見交換や協議を始めるといった趣旨ではありません。

3. 対象校及び実施日等

東部地域	5校	松が丘小、志手原小、小野小、高平小、母子小
フラワータウン	6校	富士中、狭間中、富士小、弥生小、狭間小、武庫小
西部地域	6校	長坂中、藍中、広野小、本庄小、藍小、つつじが丘小
計	17校	中学校4校、小学校13校

日 時		学校名	人数	日 時		学校名	人数
2月12日(木)	19:00～19:40	本庄小	5人	2月27日(金)	17:30～18:05	志手原小	5人
2月13日(金)	19:00～19:25	長坂中	4人		17:30～18:05	つつじが丘小	6人
2月16日(月)	19:20～19:50	広野小	6人		19:00～20:00	高平小	6人
2月18日(水)	15:00～15:25	狭間中	5人	3月5日(木)	11:30～12:15	弥生小	8人
2月19日(木)	16:00～16:40	富士小	9人		16:00～16:30	狭間小	5人
	18:00～18:35	松が丘小	5人		18:00～18:25	藍中	3人
2月26日(木)	17:00～17:25	藍小	5人	3月12日(木)	16:00～16:43	武庫小	6人
	19:00～19:35	富士中	6人		16:55～17:30	小野小	4人

※母子小は4月以降実施予定。人数は教職員を除く

4. 学校運営協議会の意見の概要

区 分	意見等の概要
①教育環境 (学校再編に肯定的な意見)	(学習面) ・学習活動を充実させるためには、ある程度の人数が必要である。 ・こども同士が、切磋琢磨する教育環境が良い。 ・少人数では、少ない考え方しか交流できないので、人数は多い方が良い。 ・小さい学校から大きな学校（高校等）に、いきなり進学するとしんどくなる。 ・小学校は、まだ人数が少なくても大丈夫だが、中学校は再編を急いでほしい。 (人間関係) ・将来の社会性を育てるのなら、多い人数の中で教育するのが良い。 ・幼稚園が統合し、こどもたちはこどもの中で育つことを実感した。 ・小規模校は人間関係が固定しているので、自分をなかなか変えられない。 ・クラス替えがあると、人間関係がうまくいかなかった場合に逃げ場ができる。
②学校存続 (学校再編に否定的な意見)	(学習面) ・少人数の方が先生が目が行き届き、こどもをよく見てもらえる。 ・学校間のオンライン学習や交流等を試してから統合を考えたらいいのではないかな。 (地域と学校) ・歴史もあり、みんなが大事にしてきた地域のシンボルである学校を残したい。 ・学校がなくなると、学校と地域とのつながりが薄くなる。 ・小学校がなくなると地域コミュニティが潰れてしまう。 ・地域に幼稚園、小学校・中学校が揃ってこそ、子育てに最適なまちとなる。
③協議の進め方 (まちづくり、跡地活用、地域コミュニティ等)	(まちづくりとセット) ・学校再編は、地域のまちづくりの協議とセットで進めないといけない。 ・店もなくなり地域の先行きが不安、地域全体の将来像を示してほしい。 ・跡地活用、避難所、地域コミュニティの拠点等の考え方をセットで提案してほしい。 ・学校跡地の活用が決まらないと、学校再編は決められない。 (進め方) ・一方的ではなく、多くの住民の納得が得られるよう協議を進めてほしい。 (その他) ・高齢者が増えて子どもが減ったら再編するというのはまちづくりに逆行。 ・空き家対策、移住定住促進を進めているのに、なぜ今学校を統合するのか。
④統合の手法	(統合の選択肢) ・農村部同士の学校で、統合するのが良いのではないかな。 ・農村部とニュータウンの学校が統合すれば良いのではないかな。 ・新設中学校に統合したら良いのではないかな。 (特色ある統合校に) ・統合による教育上のメリットがあれば再編に前向きに考えられるのではないかな。 ・小中一貫校をつくるのが良いのではないかな。
⑤通学支援、通学の安全対策	(通学不安) ・再編で一番心配なことは、学校に安全に通えるかということ。 ・学校が遠くなるので、長距離を歩かせることが不安。 (スクールバス) ・路線バスは次々と無くなっていくので、スクールバスにしてほしい。 ・具体的な通も学手段をセットで提案してくれないと再編について検討できない。
⑥統合までの間の支援	(現在のこども支援) ・統合するまで時間がかかる。その間のこどもたちの支援も同時に行ってほしい。